



心豊かでたくましく 共に生きる子ども	令和7年2月28日	
 ひらかた	上尾市立平方小学校	
3月号	校長 大野 和孝	
	ホームページ 上尾市平方小学校 <input type="button" value="検索"/>	<input type="button" value="QRコード"/>

～残り少ない日々を大切に～

校長 大野 和孝

気がつけば、周囲では梅の花が咲いています。三寒四温を繰り返しながら、1日ごとに春が近づいているように感じられます。今年度も残すところあと1か月となりました。学校は1年の締め括りの時期を迎え、各学年においても総まとめとなります。子供たち一人一人がこの1年間の学習や生活を見つめ、しっかりとまとめをすると共に、次年度への期待と展望が抱けるよう、残り少ない日々を大切にしながら教育活動を進めていきます。

先日、2年生の体育授業を参観しました。チームに分かれて「しっぽとり鬼」をする授業でした。その時間の子供たちの目標は「相手チームのよさを伝えて、鬼退治をしよう」でした。子供たちは、悪い言葉が大好きな鬼を、相手チームのよさを伝え合うことで退治するというものです。子供たちは、対戦が終わったあと、互いに相手チームのよさを積極的に伝え合っていました。よさを伝えられた子供たちは口々に「うれしかった」と感想を述べていました。相手チームのよいところを自分たちにも取り入れてみようとする子もいました。仲間との関わり合いの中で体を動かすことの喜びを感じているようでした。私にとっては子供たちの1年間の成長を感じた瞬間でもありました。もちろん、どの学年にも成長を感じた瞬間があったことは言うまでもありません。

6年生は、もうすぐ本校を卒業します。卒業証書授与式当日に、一人一人に渡す卒業証書には「小学校の全課程を修了したことを証する」と書かれています。「全課程」には、各教科等の内容を学んだということ以外にも意味がある気がします。小学校の6年間で、子供たちはよいこともそうでないことも、様々経験を積んでいきます。その経験を通して、徐々に自己を確立していきます。教科等の内容以外にも、挨拶や返事、相手の立場に立って考えること、友達との絆、感謝の気持ち等々、身に付けたことや学んでいることがたくさんあります。卒業証書授与式は短い時間で終わりますが、その中に子供たちや教師、おうちの方々の思いがたくさん詰まっていると思っています。当日は「全課程を修了した」という言葉に相応しい、6年間の学びの集大成となるような式になることを期待し、また、卒業生には平方小学校で学べてよかったと、誇りをもって卒業できるよう、最後まで丁寧に指導していきたいと思えます。

教職員一同、めざす学校像「子供が目を輝かせ、生き生きとしている学校」の実現に向け1年間取り組んできました。今年度も保護者・地域の皆様には、本校の教育活動全般にわたり、格別のご支援、ご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。令和7年度も引き続き深いご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。